

まちなか図書館（仮称）実施計画（素案）等説明会の結果

説明会

ア) まちなか図書館（仮称）実施計画（素案）等説明会

開催日時	場所	参加人数
平成28年2月13日（土） 10:00～12:00	穂の国とよはし芸術劇場プラット	13名
平成28年2月17日（水） 19:00～20:50	職員会館5階	8名
平成28年2月18日（木） 19:00～20:50	職員会館5階	6名
平成28年2月20日（土） 10:00～12:00	中央図書館	21名

イ) 主な意見 ※下記ご意見について具体的な内容につきましては今後整備に向け検討を行う中で参考にさせていただきます。

意見の主旨

○計画に関すること

- ・ミナクルにある大清水図書館は、地区市民館から書籍を集めていると聞いている。それによって各地区市民館からは本が少なくなっているという声もあった。
- ・他の自治体でも素晴らしい図書館はたくさんあるが、地域の資料があまり揃っていなかったりと、選書に関しては疑問がある。今のうちからどのような本にするか準備をしておいて、期待以上のものにしてほしい。

○計画策定に関すること

- ・説明会の参加者も少なく、まちなか図書館ができることを知らない友人も多い。中央図書館の Twitter でもツイートされてないのでは。もう少しみんなに周知することが大切ではないか。
- ・まちなか図書館ができてから動くのではなく、周りの商店の方々とも最初から一緒に計画を進めていく必要があるのではないか。

○サービスに関すること、その他

- ・東三河広域連合の中の図書館の蔵書を調べられるようにしてもらいたい。
- ・中央図書館の展示内容が毎回良いものなので、それを映像化してまちなか図書館でも流

せるとよい。

・名古屋での ESD 世界会議、豊川市のインターネットでのデジタル図書、地元ケーブルテレビ等との連携、視聴覚センターの視聴覚教材等、ソフトづくりをしっかりとっていくべき。学校の放送部や新聞部のためのものも必要ではないか。

・昭和40年代からの広報を見直したところ、いくつも素晴らしい表紙のものがあった。いろんな能力を持った職員がいると思うので、もっと引き出せるとよいと思う。

・中央図書館の課題（なくなった本の補充など）をまちなか図書館に反映させていってほしい。

・まちなか図書館の必要性について意義を知ることができた。今後は説明に関して、高齢者にも分かりやすい言葉を使うことにも配慮してほしい。